

名 称	島根県体験活動ボランティア活動支援センター
所 在 地	〒690-0011 島根県松江市東津田町1741-3
連 絡 先	TEL : 0852-32-5932      FAX : 0852-32-5934 URL : <a href="http://www7.pref.shimane.lg.jp/manabi/">http://www7.pref.shimane.lg.jp/manabi/</a>

## 地域の現況・特色

活動対象地域の人口    邑南町    12,966人

邑南町は島根県の県央部、広島県と県境を接する中国山地の山間部に位置している。

平成16年10月1日に羽須美村（旧）、瑞穂町（旧）、石見町（旧）の三町村合併により新しく誕生し、「夢響きあう元気の郷づくり」をテーマに新しい町づくりがスタートした。平成17年3月には、「邑南町次世代育成支援行動計画」を策定し、子どもから高齢者まで誰もが地域社会に参加し、お互い健やかに暮らすことができる町づくりや、生きる力を育む教育の振興や郷土を愛する心による地域文化の保存・伝承・創造、生涯学習や活動の支援により心豊かに学ぶことのできる町づくりをめざして、母子保健・児童福祉・教育やその他子育て支援における環境整備などの取組を進めている。

## コーディネートした事例の名称、概要、特色

名称 「親子体験活動～自然エネルギーに目を向けてみよう！～」

邑南町立瑞穂小学校5年生PTA親子活動は、企業が行っている学習支援を活用し「自然エネルギー」の体験学習を実施した。

活動の内容は、発電の仕組みや地球温暖化についての学習とペットボトルを使った「風力発電装置作り」で、この活動を通して自然エネルギーについての理解が深まるとともに、地球規模での環境問題への意識と関心が高まった。

活動後、この体験学習を活かし家庭で出来る節電に取り組む姿が見られ、簡単なことから自分で出来る行動を起こすことにつながった。また、子どもたち自身から次年度の活動の希望が出るなど、活動への参画意欲と意識向上が見られた。

## コーディネートの実際

- 1 邑南町立瑞穂小学校5年生PTA親子活動から島根県体験活動ボランティア活動支援センターに、自然エネルギー学習の講師並びに学習内容について相談が寄せられた。  
コーディネーターは、PTA活動担当者と協議を重ねる中で、依頼者の体験内容のねらいと意図、これまでの体験学習の様子と課題、子どもたちの活動に対する希望、実施希望日、予算等の状況を把握し、今後の活動をより明確化していくとともに、依頼者の情報をコーディネートの材料とした。
- 2 コーディネーターは、「環境」についての連携先である「財団法人島根ふれあい環境財団21」の指導員に講師並びに学習内容の相談をし、情報収集に努めた。  
また以前、エネルギー学習講師を依頼した企業の担当者に連絡を取り、学習希望内容や子どもたちの希望、実施日時、予算等を伝え、対応が可能か検討をしてもらった。  
さらに、島根県立生涯学習推進センターの講師情報より、該当する方々に依頼内容等を伝え、対応ができるか問い合わせた。
- 3 コーディネーターは上記で得た情報と資料を整理し、その中から対応可能な講師と実施可能な活動内容を依頼者に回答、提供した。
- 4 依頼者より企業の学習支援を活用したいとの要望があった。企業担当者と打ち合わせをし、旅費軽減のため学校に近い営業所から講師を派遣してもらえるよう検討をしてもらい、講師を決定した。コーディネーターは講師に連絡を取り、依頼者、活動目的、子どもたちの活動希望を伝えた。また、依頼者に対しても講師の情報を知らせるとともに、その後直接連絡により、日時・学習内容等細かく打ち合わせをしてもらった。
- 5 体験学習実施後、島根県体験活動ボランティア活動支援センター広報紙「てをつなごう！」にコーディネート事例として掲載し、PTAと企業とが連携した体験活動として広く県内に紹介した。

### 成果と課題

この活動を通して、自然エネルギーに対する理解と関心が高まるとともに、地球規模での環境問題への意識と関心が高まった。また活動後、この体験学習を活かし家庭でできる節電に取り組む姿も見られ、簡単なことから自分で出来る行動につながった。さらに、子どもたち自身から次年度の活動の希望が出るなど活動への参画意欲と意識向上が見られた。

企業にとっても学校支援の体験活動を通して、地域貢献活動をPRできる機会となり広く県内にその情報を発信することができた。

活動当初にこのような依頼があれば、2-3年の体系化した自然エネルギー学習を含む環境学習にもつながったのではないかと感じた。また、環境だけでなく、あらゆる分野の体験

活動ボランティア活動に対応できる、学習プログラムづくりを関係団体や連携先と協議し進めていけば、子どもたちにとってより幅広く、より深い学びの場の提供につながるのではないかと考える。同時に利用する側にどう情報を提供し積極的に活用してもらうか等、今後課題として検討していきたい。

今回のように企業が学校や地域活動に対して支援することが多くなってきているので、企業の地域貢献情報収集と情報発信も検討していきたい。



風力発電装置づくりに挑戦中!!

執筆者職・氏名：島根県体験活動ボランティア活動支援センター  
コーディネーター 周藤 八重子